

(様式第9)

21 岐大病総第 92 号
平成 21 年 10 月 1 日

厚生労働大臣 殿

国立大学法人岐阜大学医学部附属病院長
森 脇 久

岐阜大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 20 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

| | | |
|--------|-------|---|
| 研修医の人数 | 19.58 | 人 |
|--------|-------|---|

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第 13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

| 職種 | 常勤 | 非常勤 | 合計 | 職種 | 員数 | 職種 | 員数 |
|-------|-------|-------|---------|---------|------|-------------|-------|
| 医師 | 163 人 | 155 人 | 306.6 人 | 看護業務補助 | 30 人 | 診療エックス線技師 | 0 人 |
| 歯科医師 | 7 人 | 5 人 | 12.0 人 | 理学療法士 | 9 人 | 臨床検査技師 | 39 人 |
| 薬剤師 | 25 人 | 8 人 | 33.0 人 | 作業療法士 | 3 人 | 衛生検査技師 | 0 人 |
| 保健師 | 0 人 | 0 人 | 0.0 人 | 視能訓練士 | 3 人 | その他 | 0 人 |
| 助産師 | 11 人 | 0 人 | 11.0 人 | 義肢装具士 | 0 人 | あん摩マッサージ指圧師 | 0 人 |
| 看護師 | 450 人 | 26 人 | 467.5 人 | 臨床工学技士 | 7 人 | 医療社会事業従事者 | 2 人 |
| 准看護師 | 1 人 | 0 人 | 1.0 人 | 栄養士 | 1 人 | その他の技術員 | 13 人 |
| 歯科衛生士 | 2 人 | 0 人 | 2.0 人 | 歯科技工士 | 2 人 | 事務職員 | 102 人 |
| 管理栄養士 | 4 人 | 2 人 | 5.5 人 | 診療放射線技師 | 36 人 | その他の職員 | 24 人 |

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

| | 歯科等以外 | 歯科等 | 合計 |
|--------------|----------|--------|----------|
| 1日当たり平均入院患者数 | 479.1 人 | 7.9 人 | 487.1 人 |
| 1日当たり平均外来患者数 | 1172.4 人 | 69.3 人 | 1241.8 人 |
| 1日当たり平均調剤数 | 727 剤 | | |

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

| 先進医療の種類 | 届出受理 | 取扱い患者数 |
|--|--------------------------------------|--------|
| 高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。) | <input checked="" type="radio"/> 有・無 | 28人 |
| 顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。) | <input checked="" type="radio"/> 有・無 | 0人 |
| 顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 人工括約筋を用いた尿失禁の治療 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齶蝕の修復に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |

| 先進医療の種類 | 届出受理 | 取扱い患者数 |
|---|---------------------------------------|--------|
| 乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒痕、瞼球癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒痕その他の重症の癒痕性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 神経芽腫のRNA診断 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体室塞処理骨移植 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリーノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 家族性アルツハイマー病の遺伝子診断 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |

| 先進医療の種類 | 届出受理 | 取扱い患者数 |
|---|--------------------------------------|--------|
| HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植 (HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術 (頸椎椎間板ヘルニア (画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの (後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。)) に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| ケラチン病の遺伝子診断 (水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 末梢血単核球移植による血管再生治療 (慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病 (従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの) に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。)) に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 末梢血単核球移植による血管再生治療 (慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病 (従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの) に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。)) に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術 (双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例 (妊娠十六週から二十六週に限る。)) に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法 (肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 先天性銅代謝異常症の遺伝子診断 (ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 超音波骨折治療法 (四肢の骨折 (治療のために手術中に行われるものを除く。)) のうち、観血的手術を実施したもの (開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。)) に係るものに限る。) | <input checked="" type="radio"/> 有・無 | 0人 |
| CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテナーメドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法 (ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存 (骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性 (欠損性又は感染性偽関節に係るもの) に限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時 (初回又は再置換術時に限る。)) の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術 (難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの) に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価 (骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るもの) に限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 膀胱水圧拡張術 (間質性膀胱炎に係るもの) に限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 色素性乾皮症に係る遺伝子診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法 (歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの) に限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術 (人工股関節のたるみに係るもの) に限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 腹腔鏡下直腸固定術 (直腸脱に係るもの) に限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 骨移動術による関節温存型再建 (骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの) に限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 肝切除手術における画像支援ナビゲーション (原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの) に限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法 (腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍 (食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん) に係るもの) に限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |

| 先進医療の種類 | 届出受理 | 取扱い患者数 |
|--|---------------------------------------|--------|
| 自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したのものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したのものに限る。))に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類I b期までの子宮体がんに係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第七十六号)の「(I) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小白歯の重度の齶蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |
| 無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 0人 |

| 先進医療の種類 | 届出受理 | 取扱い患者数 |
|--|--------------------------------------|--------|
| 内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは白蓋骨折に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索 | <input checked="" type="radio"/> 有・無 | 37人 |
| カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 胎児尿路・羊水腔シャント術(ブルー・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。)に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。)に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。)に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHf)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。)に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| 内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

| 疾 患 名 | 取扱い患者数 | 疾 患 名 | 取扱い患者数 |
|-------------------|--------|---------------------------|--------|
| ・ベーチェット病 | 25 人 | ・モヤモヤ病(ウリス動脈輪閉塞症) | 32 人 |
| ・多発性硬化症 | 34 人 | ・ウェゲナー肉芽腫症 | 4 人 |
| ・重症筋無力症 | 36 人 | ・特発性拡張型(うっ血型)心筋症 | 5 人 |
| ・全身性エリテマトーデス | 103 人 | ・多系統萎縮症 | 14 人 |
| ・スモン | 0 人 | ・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型) | 2 人 |
| ・再生不良性貧血 | 11 人 | ・膿疱性乾癬 | 8 人 |
| ・サルコイドーシス | 72 人 | ・広範脊柱管狭窄症 | 2 人 |
| ・筋萎縮性側索硬化症 | 23 人 | ・原発性胆汁性肝硬変 | 10 人 |
| ・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎 | 236 人 | ・重症急性膵炎 | 7 人 |
| ・特発性血小板減少性紫斑病 | 42 人 | ・特発性大腿骨頭壊死症 | 40 人 |
| ・結節性動脈周囲炎 | 10 人 | ・混合性結合組織病 | 13 人 |
| ・潰瘍性大腸炎 | 69 人 | ・原発性免疫不全症候群 | 11 人 |
| ・大動脈炎症候群 | 16 人 | ・特発性間質性肺炎 | 3 人 |
| ・ピュルガー病 | 5 人 | ・網膜色素変性症 | 9 人 |
| ・天疱瘡 | 24 人 | ・プリオン病 | 1 人 |
| ・脊髄小脳変性症 | 29 人 | ・原発性肺高血圧症 | 1 人 |
| ・クローン病 | 50 人 | ・神経線維腫症 | 17 人 |
| ・難治性の肝炎のうち劇症肝炎 | 0 人 | ・亜急性硬化性全脳炎 | 1 人 |
| ・悪性関節リウマチ | 3 人 | ・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群 | 1 人 |
| ・パーキンソン病関連疾患 | 62 人 | ・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型) | 0 人 |
| ・アミロイドーシス | 2 人 | ・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む | 3 人 |
| ・後縦靭帯骨化症 | 55 人 | ・副腎白質ジストロフィー | 1 人 |
| ・ハンチントン病 | 3 人 | | |

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

| | | | |
|-------------------------------------|---|------|-------------|
| 臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況 | ① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。 | | |
| 臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度 | 週 1 回 | | |
| 剖 検 の 状 況 | 剖検症例数 | 36 例 | 剖検率 11.69 % |

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 | 補助元又は委託元 | |
|---|-------|------|------------|----------|-------------------------------|
| 核内受容体蛋白を分子標的とした肝癌化学予防に関する研究 | 森脇 久隆 | 第一内科 | 15,600,000 | 補委 | 文部科学省 科学研究費補助金 |
| 核内受容体および受容体型チロシンキナーゼを標的分子とした癌化学予防に関する研究 | 森脇 久隆 | 第一内科 | 1,600,000 | 補委 | 文部科学省 科学研究費補助金 |
| 転写制御因子HNF-4を応用した肝再生療法の確立と肝不全治療システムの構築 | 永木 正仁 | 第一内科 | 1,100,000 | 補委 | 文部科学省 科学研究費補助金 |
| 次世代型電子カルテシステムによる癌診療工程のプロセス解析とその最適化 | 白鳥 義宗 | 第一内科 | 1,500,000 | 補委 | 文部科学省 科学研究費補助金 |
| 受容体型チロシンキナーゼを標的としたEGCG大腸発癌抑制の研究 | 清水 雅仁 | 第一内科 | 800,000 | 補委 | 文部科学省 科学研究費補助金 |
| 慢性肝障害におけるスフィンゴ脂質シグナルの肝細胞の生死決定機序に関する研究 | 大澤 陽介 | 第一内科 | 1,500,000 | 補委 | 文部科学省 科学研究費補助金 |
| 脂質ラフトを標的としたEGCGによる大腸癌予防の研究 | 足立 政治 | 第一内科 | 1,500,000 | 補委 | 文部科学省 科学研究費補助金 |
| 難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究 | 森脇 久隆 | 第一内科 | 400,000 | 補委 | 厚生労働省 科学研究費補助金 |
| 肝がん患者のQOL向上に関する研究 | 森脇 久隆 | 第一内科 | 1,250,000 | 補委 | 厚生労働省 科学研究費補助金 |
| 肝硬変を含めたウイルス性肝疾患の治療の標準化に関する研究 | 森脇 久隆 | 第一内科 | 2,000,000 | 補委 | 厚生労働省 科学研究費補助金 |
| 肝発癌抑制を視野に入れた肝硬変の栄養療法のガイドライン作成を目指した総合的研究 | 森脇 久隆 | 第一内科 | 2,000,000 | 補委 | 厚生労働省 科学研究費補助金 |
| 人血清アルブミン治療に関する臨床研究 | 森脇 久隆 | 第一内科 | 1,300,000 | 補委 | 化学及血清療法研究所 受託研究費 |
| 肝疾患の分子病態解明に基づく新規治療・予防法の確立 | 森脇 久隆 | 第一内科 | 110,000 | 補委 | 理化学研究所共同研究 |
| 核レチノイド受容体蛋白を分子標的としたがん化学予防に関する研究 | 森脇 久隆 | 第一内科 | 150,000 | 補委 | 社団法人ビタミン協会 |
| 受容体型チロシンキナーゼを標的としたEGCGによる肝線維化・発癌予防の研究 | 清水 雅仁 | 第一内科 | 1,000,000 | 補委 | 平成20年度Liver Forum in Kyoto |
| 体脂肪減少因子を用いた2型糖尿病の治療 | 武田 純 | 第三内科 | 46,841,000 | 補委 | 厚生労働省 科学研究費補助金 |
| 循環器リスクと耐糖能障害の効果的な健診マーカーの探索 | 武田 純 | 第三内科 | 18,945,000 | 補委 | 厚生労働省 科学研究費補助金 |
| 膝島特異的遺伝子の発現調節軸に焦点を絞った糖尿病遺伝子の探索 | 武田 純 | 第三内科 | 4,000,000 | 補委 | 文部科学省 科学研究費補助金 |

(様式第11)

| | | | | | |
|--|--------|------|------------|----|---|
| 膵島機能に関連するマイクロ分子の同定と機能解析 | 武田 純 | 第三内科 | 1,900,000 | 補委 | 文部科学省 科学研究費補助金 |
| 化合物等を活用した生物システム制御基盤技術開発 | 堀川 幸男 | 第三内科 | 42,000,000 | 補委 | バイオ産業情報化コンソーシアム |
| 膵島分泌タンパク（オステオネクチン）と糖尿病大血管症のリンク | 堀川 幸男 | 第三内科 | 1,000,000 | 補委 | シンポジウム糖尿病 |
| 薬剤徐放ゲルシートを用いたアドリアマイシンによる血管吻合部新生内膜肥厚抑制の検討 | 竹村 博文 | 第一外科 | 3,000,000 | 補委 | 文部科学省 科学研究費補助金 |
| 術前化学療法後脂肪性肝炎に対する抗ヒトTNF α モノクローナル抗体療法の開発 | 山田 卓也 | 第一外科 | 4,420,000 | 補委 | 文部科学省 科学研究費補助金 |
| 肺切除術前の常圧低酸素トレーニングの有用性の検証 | 松本 真介 | 第一外科 | 3,770,000 | 補委 | 文部科学省 科学研究費補助金 |
| 慢性虚血性心疾患における再生医療を併施した外科的血行再建術の実験的検討 | 石田 成吏洋 | 第一外科 | 3,250,000 | 補委 | 文部科学省 科学研究費補助金 |
| 冠動脈バイパス手術における心筋誘電特性による適正バイパス手術の決定に関する研究 | 宮内 忠雅 | 第一外科 | 130,000 | 補委 | 文部科学省 科学研究費補助金 |
| 低侵襲微細手術支援・教育訓練システムの開発～CMCセンサとその応用～ | 竹村 博文 | 第一外科 | 3,786,000 | 補委 | 知的クラスター (財)岐阜県研究開発財団 |
| 骨軟部腫瘍におけるオーロラキナーゼの解析 | 大野 貴敏 | 整形外科 | 500,000 | 補委 | 文部科学省 科学研究費補助金 |
| 内因性炎症性サイトカインの制御を図った新しい椎間板再生アプローチ | 宮本 敬 | 整形外科 | 700,000 | 補委 | 文部科学省 科学研究費補助金 |
| 滑膜肉腫関連SYTISX遺伝子のオーロラ遺伝子に対する作用と分子標的治療の探求 | 増田 剛宏 | 整形外科 | 1,350,000 | 補委 | 文部科学省 科学研究費補助金 |
| 脊柱靭帯骨化症に関する調査研究 | 清水 克時 | 整形外科 | 1,000,000 | 補委 | 厚生労働省 難治性疾患克服研究事業 |
| 目標眼圧の再評価と新しい視野解析プログラム及びインプラント手術の可能性について | 石田 恭子 | 眼科 | 400,000 | 補委 | 文部科学省 科学研究費補助金 |
| 悪性黒色腫の治療 | 北島 康雄 | 皮膚科 | 200,000 | 補委 | 厚生労働省 がん研究助成金 |
| 水疱症、膿疱症の病態と治療 | 青山 裕美 | 皮膚科 | 2,000,000 | 補委 | 厚生労働省 難治性皮膚疾患調査研究 |
| 天疱瘡抗体によるデスグレイン3結合型p120ctn関連シグナル伝達機構の解析 | 青山 裕美 | 皮膚科 | 500,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 |
| アレルギーのテーラーメイド治療管理ガイドラインの確立と実用化 | 近藤 直実 | 小児科 | 27,000,000 | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業 |
| アレルギーのテーラーメイド治療管理ガイドラインの確立と実用化 | 近藤 直実 | 小児科 | 2,700,000 | 補委 | 厚生労働省免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業 |
| 食物アレルギーの病因病態の遺伝子学的およびタンパク質構造学的解明 | 近藤 直実 | 小児科 | 21,000,000 | 補委 | 独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター 生物系産業創出のための異分野融合研究支援事業 |

(様式第11)

| | | | | | |
|---|--------|--------|------------|----|--|
| 食物アレルギー患者の臨床像の解明 および新規治療法の開発 | 金子 英雄 | 小児科 | 19,000,000 | 補委 | 独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構 生物系特定産業技術研究 支援センター 生物系産業 創出のための異分野融合 研究支援事業 |
| アトピー性皮膚炎の発症および悪化 因子の同定と発症予防・症状悪化防 止のための生活環境整備に関する研 究 | 河野 陽一 | 小児科 | 2,500,000 | 補委 | 厚生労働省科学研究費補 助金免疫アレルギー疾患 予防・治療事業 |
| アレルギー疾患の自己管理と個別化 医療を目指した早期診断基準と早期 治療法の確立及びその有効性と有害 事象の評価に関する研究 | 大田 健 | 小児科 | 4,500,000 | 補委 | 厚生労働省科学研究費補 助金免疫アレルギー疾患 予防・治療研究事業 |
| ダイオキシンの乳幼児への影響その 他の汚染実態の解明に関する研究 | 多田 裕 | 小児科 | 750,000 | 補委 | 厚生労働省食品の安全性 高度化推進研究事業 |
| タンデムマス等の新技術を導入した 新しい新生児マスキリーニング体 制の確立に関する研究 | 山口 清次 | 小児科 | 300,000 | 補委 | 厚生労働省科学研究費補 助金子ども家庭総合研究 事業 |
| 原発性免疫不全症候群に関する調査 研究 | 原 寿郎 | 小児科 | 2,000,000 | 補委 | 厚生労働省科学研究費補 助金難治性疾患克服研究 事業 |
| 多列型検出器CT画像における金属 アーチファクト軽減アルゴリズムの 開発 | 五島 聡 | 放射線科 | 650,000 | 補委 | 文部科学省 科学研究費補助金 |
| Cinetagging画像を用いた線維化評 価 | 渡邊 春夫 | 放射線科 | 1,100,000 | 補委 | 文部科学省 科学研究費補助金 |
| ヒト口腔粘膜病変における遺伝子メ チル化異常の関与 | 柴田 敏之 | 歯科口腔外科 | 3,300,000 | 補委 | 文部科学省 科学研究費補助金 |
| 4NQO誘発ラット舌発癌における遺 伝子メチル化異常の解析 | 牧田 浩樹 | 歯科口腔外科 | 1,100,000 | 補委 | 文部科学省 科学研究費補助金 |
| 口腔扁平上皮癌の頸部リンパ節転移 に関する染色体・遺伝子異常の解析 | 土井田 誠 | 歯科口腔外科 | 900,000 | 補委 | 文部科学省 科学研究費補助金 |
| 口腔癌における血漿中のメチル化異 常遺伝子断片の検索と臨床病態との 相関 | 山下 知己 | 歯科口腔外科 | 1,700,000 | 補委 | 文部科学省 科学研究費補助金 |
| ヒト歯髄組織幹細胞の樹立効率向上 とiPS細胞化の検討 | 武田 知子 | 歯科口腔外科 | 1,360,000 | 補委 | 文部科学省 科学研究費補助金 |
| 低酸素環境によるヒト口腔がんの EMT誘導 | 宮崎 康雄 | 歯科口腔外科 | 1,340,000 | 補委 | 文部科学省 科学研究費補助金 |
| ヒト歯胚組織幹細胞におけるオステ オカルシン発現と血管内皮増殖因子 誘導機構の解析 | 畠山 大二郎 | 歯科口腔外科 | 1,100,000 | 補委 | 文部科学省 科学研究費補助金 |
| ヒト口腔癌Bcl-2ファミリー遺伝子 の発現様式と治療効果の検討 | 浅香 雄一郎 | 歯科口腔外科 | 1,000,000 | 補委 | 文部科学省 科学研究費補助金 |

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|----------------------------------|---|-------------|------|
| Cancer Lett | EGCG inhibits activation of the insulin-like growth factor (IGF)/IGF-1 receptor axis in human hepatocellular carcinoma cells. | Shimizu M | 第一内科 |
| Cancer Prev Res | (-)-Epigallocatechin gallate suppresses azoxymethane-induced colonic premalignant lesions in male C57BL/KsJ-db/db mice. | Shimizu M | 第一内科 |
| Int J Mol Sci | Targeting Receptor Tyrosine kinases for chemoprevention by green tea catechin, EGCG. | Shimizu M | 第一内科 |
| PPAR Res | Synergistic effects of PPARgamma ligands and retinoids in cancer treatment. | Shimizu M | 第一内科 |
| Cancer Epidemiol Biomarkers Prev | Green tea extracts for the prevention of metachronous colorectal adenomas: a pilot study. | Shimizu M | 第一内科 |
| Hepatol Res | Significant effect of hepatitis C virus on viral clearance in patients with type C chronic hepatitis treated with antiviral agents. | Satake S | 第一内科 |
| Hematol Oncol | Continuous drip infusion of low dose cytarabine and etoposide with granulocyte colony-stimulating factor for elderly patients with acute myeloid leukaemia ineligible for intensive chemotherapy. | Kanemura N | 第一内科 |
| Leuk Res | Retinoid X receptor alpha is highly phosphorylated in retinoic acid-resistant HL-60R cells and the combination of 9-cis retinoic acid plus MEK inhibitor induces apoptosis in the cells. | Kanemura N | 第一内科 |
| Clin Cancer Res | Synergistic growth inhibition by 9-cis-retinoic acid plus trastuzumab in human hepatocellular carcinoma cells. | Tatebe H | 第一内科 |
| Endoscopy | The yield of endoscopic ultrasound-guided fine needle aspiration for histological diagnosis in patients suspected of stage I sarcoidosis. | Iwashita T | 第一内科 |
| Mol Med Rep | EGCG and Polyphenon E attenuate inflammation-related mouse colon carcinogenesis induced by AOM plus DDS. | Shirakami Y | 第一内科 |
| J Cancer Res Clin Oncol | Serum-soluble interleukin-2 receptor (sIL-2R) is an extremely strong prognostic factor for patients with peripheral T-cell lymphoma, unspecified (PTCL-U). | Kitagawa J | 第一内科 |
| J Hepatol | Critical role of CD44 in hepatotoxin-mediated liver injury. | Kimura K | 第一内科 |

(様式第11)

| | | | |
|-----------------------------|---|----------------|------|
| J Gastroenterol Hepatol | Intraductal chilled saline perfusion to prevent bile duct injury during percutaneous radiofrequency ablation for hepatocellular carcinoma. | Ohnishi T | 第一内科 |
| Int Immunol | Role of V α 14 ⁺ NKT cells in the development of Hepatitis B virus-specific CTL: activation of V α 14 ⁺ NKT cells promotes the breakage of CTL tolerance. | Ito H | 第一内科 |
| Carcinogenesis | (-)-Epigallocatechin gallate causes internalization of the epidermal growth factor receptor in human colon cancer cells. | Adachi S | 第一内科 |
| Liver Int | Upregulation of indoleamine 2,3-dioxygenase in hepatocyte during acute hepatitis caused by hepatitis B virus-specific cytotoxic T lymphocytes in vivo. | Iwamoto N | 第一内科 |
| Biochim Biophys Acta | TNF-alpha and IL-6 signals from the bone marrow derived cells are necessary for normal murine liver regeneration. | Sudo K | 第一内科 |
| J.Clin.Endocrinol.Metab. | Replication of genome-wide association studies of type 2 diabetes susceptibility in Japan. | 堀川 幸男 | 第三内科 |
| J.Neurochem | Large-Scale analysis of glucocorticoid target genes in rat hypothalamus. | 堀川 幸男 | 第三内科 |
| Hum.Mutat. | Mutations in the small heterodimer partner gene increase morbidity risk in Japanese type 2 diabetes patients. | 堀川 幸男 | 第三内科 |
| Diabetes Res.Clin.Pract | Coronary artery calcification, arterial stiffness and renal insufficiency associate with serum levels of tumor necrosis factor-alpha in Japanese type 2 diabetic patients. | 鈴木 英司 | 第三内科 |
| Biochem.Biophys.Res.Commun. | Regulation of lipogenesis via BHLHB2/DEC1 and ChREBP feedback looping. | 堀川 幸男 | 第三内科 |
| Nat.Genet. | A multistage genome-wide association study identifies SNPs in KCNQ1 associated with susceptibility to type 2 diabetes mellitus. | 堀川 幸男 | 第三内科 |
| J Heart Lung Transplant | Histologic damage of lung allografts according to magnitude of acute rejection in the re-isotransplant model | Tsutomu Marui | 第一外科 |
| J Gastroenterol Hepatol | Reduction of fibrosis in a rat model of non-alcoholic steatohepatitis cirrhosis by human HGF gene transfection using electroporation. | Shigeru Kiyama | 第一外科 |
| 日本心臓血管外科学会雑誌 | 完全房室ブロック，心不全を契機に診断された成人大動脈縮窄症の1手術例 | 宮内 忠雅 | 第一外科 |
| Hepato-Gastroenterology | Growth Inhibition of Unresectable Tumors induced by Hepatic Cryoablation:Report of Two Cases. | 長田 真二 | 第二外科 |

(様式第11)

| | | | |
|---|--|-----------|------|
| Journal of Neurological Sciences | Multiple steroid-induced vertebral fracture with paraparesis associated with Wegener's granulomatosis treated with posterior spinal instrumentation. | 寺林 伸夫 | 整形外科 |
| Japanese Journal of Clinical Chemistry | Cytokine profiles in mice with arthritis induced by anti-type II collagen monoclonal antibody plus lipopolysaccharide. | 四戸 隆起 | 整形外科 |
| Spine | Two-stage (posterior and anterior) surgical treatment of spinal osteomyelitis due to atypical mycobacteria and associated thoracolumbar kyphoscoliosis in a nonimmunocompromised patient | 平川 明弘 | 整形外科 |
| Bulletin of the NYU Hospital for Joint Diseases | Limb-length measurement in total hip arthroplasty using a calipers dual pin retractor. | 瀧上 伊織 | 整形外科 |
| Archives of Orthopaedic and Trauma Surgery | Radio-opaque marker of a surgical sponge appearing as an intra-articular foreign body after total hip arthroplasty | 瀧上 伊織 | 整形外科 |
| Arch Orthop Trauma Surg | Upper lumbar burst fracture due to recreational high jumping into a river: report of five cases | 喜久生 健太 | 整形外科 |
| Clin Biomech | Effects of abdominal belts on the cross-sectional shape of the trunk during intense contraction of the trunk muscles observed by computer tomography | 宮本 敬 | 整形外科 |
| Bulletin of the NYU Hospital for Joint Diseases | Treatment of trochanteric Fractures with the PFNA (Proximal Femoral Nail Antirotation) Nail System | 瀧上 伊織 | 整形外科 |
| Orthopedics | Morcellized bone grafting for acetabular deficiency in cementless total hip arthroplasty. | 小川 寛泰 | 整形外科 |
| Ophthalmology | Refractive errors in an elderly Japanese population. The Tajimi Study | 澤田 明 | 眼科 |
| Retinal Cases & Brief Reports | Polymicrobial endogenous endophthalmitis | 望月 清文 | 眼科 |
| Br J Ophthalmol | Ocular and systemic factors related to intraocular pressure in Japanese adults: the Tajimi study | 川瀬 和秀 | 眼科 |
| Jpn J Ophthalmol | Case of atypical fibroxanthoma in the palpebral conjunctiva | 望月 清文 | 眼科 |
| Burns | Assessment of burn area: most objective method | Ichiki Y. | 皮膚科 |

(様式第11)

| | | | |
|--------------------------------|--|-----------|-----|
| Rheumatol int | Successful treatment of scleroderma-related cutaneous ulcer with suction blister grafting | Ichiki Y. | 皮膚科 |
| Acta Derm Venereol | Ulcerative sarcoidosis; case report and review of Japanese literature | Ichiki Y. | 皮膚科 |
| Rheumatol Int | A case of systemic lupus erythematosus presenting as hypoglycemia due to anti-insulin receptor antibodies | Ichiki Y. | 皮膚科 |
| Clin Exp Dermatol | Omphalith | Ichiki Y. | 皮膚科 |
| Clin Exp Dermatol | A case of frontal mucocele manifesting with subcutaneous forehead tumor | Ichiki Y. | 皮膚科 |
| Acta Derm Venereol | Coexistence of recurrent generalied morphea and systemic sclerosis | Ichiki Y. | 皮膚科 |
| Int J Dermatol | Giant sinusoidal hemangioma revealing diffuse ancient change: hyalinization and organized trombin | Kamiya H. | 皮膚科 |
| Eur J Dermatol | Severe pemphigus vulgaris: successful combination therapy of plasmapheresis followed by intravenous high-dose immunoglobulin to prevent rebound increase in pathogenic IgG | Aoyama Y. | 皮膚科 |
| J Dermatol | p120ctn is associated with desmogleins when desmosomes are assembled in high-Ca ²⁺ medium but not when disassembled in low-Ca ²⁺ medium in DJM-1 cells | Aoyama Y. | 皮膚科 |
| Exp Cell Res | p120ctn-catenin is a novel-desmoglein 3 interacting partner: identification of the p120-catenin association site of desmoglein 3 | Aoyama Y. | 皮膚科 |
| Med Mycol | Subcutaneous phaeohyphomycosis caused by <i>Exophiala xenobiotica</i> in a non-Hodgkin lymphoma patient | Aoyama Y. | 皮膚科 |
| Exp Dermatol | Low to high Ca ²⁺ -switch causes phosphorylation and association of desmocollin 3 with plakoglobin and desmoglein 3 in cultured keratinocytes | Aoyama Y. | 皮膚科 |
| J Eur Acad Dermatol & Venereol | Spindle cell squamous cell carcinoma showing epithelial-mesenchymal transition | Iwata Y. | 皮膚科 |
| Br J Dermatol | A case of anti-p200 pemphigoid; evidence for a different pathway in neutrophil recruitment compared to bullous pemphigoid | Iwata Y. | 皮膚科 |

(様式第11)

| | | | |
|--|--|----------|-----|
| J Invest Dermatol | IgG from patients with bullous pemphigoid depletes cultured keratinocytes of the 180-kDa Bullous Pemphigoid Antigen(type XVII collagen)and weakens cell attachment | Iwata Y. | 皮膚科 |
| J Eur Acad Dermatol & Venereol | Extramammary Paget's disease: unique pathological characteristics showing epidermal proliferation of squamoid and basaloid cells | Iwata Y. | 皮膚科 |
| 皮膚科の臨床 | B C G接種部位に皮膚潰瘍を生じた1例 | 岩田 浩明 | 皮膚科 |
| 皮膚科の臨床 | 当科における口唇癌（有棘細胞癌）のまとめ | 岩田 浩明 | 皮膚科 |
| 皮膚科の臨床 | Unilesional mycosis fungoidesの1例 | 岩田 浩明 | 皮膚科 |
| J Investig Allergol Clin Immunol | Protein-losing enteropathy associated with egg allergy in a 5-month-old boy. | 近藤 應 | 小児科 |
| Transfus Apher Sci | Anaphylactoid transfusion reactions associated with a positively charged white-cell reduction filter: a case report. | 船戸 道德 | 小児科 |
| Int J Mol Med | Age-related changes in BAFF and APRIL profiles and upregulation of BAFF and APRIL expression in patients with primary antibody deficiency. | 金 英 | 小児科 |
| Int J Mol Med | A novel polymorphism in the 5-lipoxygenase gene associated with bronchial asthma in Japanese children. | 白 春英 | 小児科 |
| Pediatric Allergy and Immunology | The response of bovine beta-lactoglobulin-specific T-cell clones to single amino acid substitutions of T-cell core epitope. | 近藤 應 | 小児科 |
| Tohoku J Exp Med | A successfully treated case of neonatal herpes simplex type 1 infection complicated by hemophagocytic lymphohistiocytosis and acute hepatic failure. | 山田 桂太郎 | 小児科 |
| Molecular medicine Report | Induction of $\alpha 1$ and $\alpha 2$ gene expression in selective IgA deficiency. | 鈴木 啓子 | 小児科 |
| Mol Genet Metab | Clinical and molecular investigations of Japanese cases of glutaric acidemia type 2. | 山本 裕 | 小児科 |
| International Journal of Pediatric Otorhinolaryngology Extra | Pediatric synovial sarcoma of the right masseter muscle: A case report and review of the literature. | 船戸 道德 | 小児科 |

(様式第11)

| | | | |
|--------------------------|--|--------|------|
| Mol Genet Metab | A Novel Single-Base Substitution (c.1124A>G) that Activates a 5-Base Upstream Cryptic Splice Donor Site within Exon 11 in the Human Mitochondrial Acetoacetyl-CoA Thiolase Gene. | 深尾 敏幸 | 小児科 |
| Brain Dev | Parents of childhood X-linked adrenoleukodystrophy: High risk for depression and neurosis. | 倉坪 和泉 | 小児科 |
| Tohoku J Exp Med | Liver-Specific Silencing of the Human Gene Encoding Succinyl-CoA: 3-Ketoacid CoA Transferase | 折居 建治 | 小児科 |
| Clinical Immunology | Toll-like receptor signaling is impaired in dendritic cells from patients with X-linked agammaglobulinemia. | 金子 英雄 | 小児科 |
| Mol Genet Metab | Study of deep intronic sequence exonization in a Japanese neonate with a mitochondrial trifunctional protein deficiency. | 深尾 敏幸 | 小児科 |
| Proc Natl Acad Sci U S A | Positioning of autoimmune TCR-Ob.2F3 and TCR-Ob.3D1 on the MBP85-99/HLA-DR2 complex. | 加藤 善一郎 | 小児科 |
| Mol Med Reports | IL-10 plays an important role as an immune-modulator in the pathogenesis of atopic diseases. | 川本 美奈子 | 小児科 |
| Allergol Int | Hypothermia augments NF-kappa B activity and the production of IL-12 and IFN-gamma. | 新井 隆広 | 小児科 |
| Allergol Int | Expression, purification and structural analysis of human IL-18 binding protein: a potent therapeutic molecule for allergy. | 木村 豪 | 小児科 |
| Proc Natl Acad Sci U S A | Amino acid copolymer-specific IL-10-secreting regulatory T cells that ameliorate autoimmune diseases in mice. | 加藤 善一郎 | 小児科 |
| Eur J Pediatr | Acute mumps cerebellitis with abnormal findings in MRI diffusion-weighted images. | 松隈 英治 | 小児科 |
| Pediatrics International | Escherichia coli O-157-induced hemolytic uremic syndrome: Usefulness of SCWP score for the prediction of neurological complication. | 寺本 貴英 | 小児科 |
| 臨床放射線 | 三次元放射線治療での肺腫瘍局所再発に対する再照射例の検討 | 林 真也 | 放射線科 |
| AJNR Am J Neuroradiol | Carcinoma ex pleomorphic adenoma of the parotid gland: radiologic-pathologic correlation with MR imaging including diffusion-weighted imaging. | 加藤 博基 | 放射線科 |
| Clin Imaging | Nonfunctional mediastinal parathyroid cyst: imaging findings in two cases | 加藤 博基 | 放射線科 |

(様式第11)

| | | | |
|----------------------|--|-------------------|--------|
| Eur J Radiol | Hepatic hemangioma: Correlation of enhancement types with diffusion-weighted MR findings and apparent diffusion coefficients. | 五島 聡 | 放射線科 |
| J Magn Reson Imaging | Diffusion-weighted imaging of the liver: optimizing b value for the detection and characterization of benign and malignant hepatic lesions | 五島 聡 | 放射線科 |
| J Magn Reson Imaging | Evaluating local hepatocellular carcinoma recurrence post-transcatheter arterial chemoembolization: is diffusion-weighted MRI reliable as an indicator? | 五島 聡 | 放射線科 |
| Radiology | How should we optimize bolus tracking with multidetector CT of the abdomen? | 兼松 雅之 | 放射線科 |
| Radiology | Abdomen angiography with 16-detector CT: comparison of image quality and radiation dose between studies with 0.625-mm and those with 1.25-mm collimation | 三好 利治 | 放射線科 |
| Radiology | Abdominal multidetector CT in patients with varying body fat percentages: estimation of pinal contrast material dose | 近藤 浩史 | 放射線科 |
| Radithery Oncology | MRI-based preplanning in low-dose-rate prostate brachytherapy | 田中 修 | 放射線科 |
| Clin Imaging | Nonfunctional mediastinal parathyroid cyst: imaging finding in two cases | Hiroki Kato | 放射線科 |
| Br J Cancer | Effects of green tea polyphenol on methylation status of RECK gene and cancer cell invasion in oral squamous cell carcinoma cells | 加藤 憲三 | 歯科口腔外科 |
| Oral Oncol | Hypermethylation of the RECK gene predicts poor prognosis in oral squamous cell carcinomas | Nguyen Khanh Long | 歯科口腔外科 |
| Int J Oncol | The effect of hypoxic microenvironment on matrix metalloproteinase expression in xenografts of human oral squamous cell carcinoma | 宮崎 康雄 | 歯科口腔外科 |
| J Dent Res | Characterization of dental pulp stem cells of human tooth germs | 武田 知子 | 歯科口腔外科 |
| J Leukoc Biol | Tumor-infiltrating myeloid-derived suppressor cells are pleiotropic-inflamed monocytes/macrophages that bear M1- and M2-type characteristics | 梅村 直己 | 歯科口腔外科 |
| 日本口腔外科学会雑誌 | 移植腸骨に再々発したエナメル上皮腫の1例 | 飯田 一規 | 歯科口腔外科 |

(様式第11)

| | | | |
|------------|-------------------------------|--------|------------|
| 日本口腔診断学会雑誌 | 術後に傍咽頭リンパ節に転移をきたした口腔扁平上皮癌の2例 | 高山 大二郎 | 歯科口腔外科 |
| 日本口腔外科学会雑誌 | 経口ビスフォスフォネート製剤に関連した下顎骨壊死の治癒経験 | 山下 知巳 | 歯科口腔外科 |
| 日本口腔診断学会雑誌 | 増殖様式が類推された集合性歯牙腫の1例 | 米本 和弘 | 歯科口腔外科 |
| 日本外傷学会雑誌 | 外傷性胸部大動脈損傷9例の検討 | 村上 栄司 | 高次救命治療センター |
| 日本外傷学会雑誌 | 十分な初期診療の得られなかった鈍的心損傷の4救命例 | 村上 栄司 | 高次救命治療センター |

計 104

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
2 「発表者名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

| | |
|---------|--|
| 管理責任者氏名 | 病院長 森脇 久隆 |
| 管理担当者氏名 | 事務部長 倉坪弘一, 総務課長 小川友雄, 医療サービス課長 堰富美雄, 情報企画課長 木澤教治, 管理課長 加藤三一, 放射線部長 兼松雅之, 高次救命治療センター長 小倉真治, 薬剤部長 伊藤善規, 看護部長 間宮礼子, 生体支援センター長 村上 啓雄 |

| | | 保管場所 | 分類方法 | |
|--|-----------------------------------|---|--|--|
| 診療に関する諸記録 病院日誌, 各科診療日誌, 処方せん, 手術記録, 看護記録, 検査所見記録, エックス線写真, 紹介状, 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書 | | 医療サービス課, 各診療科, 医療情報部, 放射線部, 手術部, 薬剤部, 看護部 | カルテは、患者ごとに、1カルテを作成し、診療記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、診療経過の要約と共に電子媒体で保存管理している。 | |
| 病院の管理及び運営に関する諸記録 | 従業者数を明らかにする帳簿 | 総務課 | | |
| | 高度の医療の提供の実績 | 医療サービス課 | | |
| | 高度の医療技術の開発及び評価の実績 | 研究支援係 (医学系研究科・医学部事務) | | |
| | 高度の医療の研修の実績 | 総務課 | | |
| | 閲覧実績 | 総務課 医療サービス課 | | |
| | 紹介患者に対する医療提供の実績 | 医療サービス課 | | |
| | 入院患者数, 外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿 | 医療サービス課 薬剤部 | | |
| | 確保の状況 規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制 | 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況 | 医療安全管理室 | |
| | | 専任の院内感染対策を行う者の配置状況 | 生体支援センター | |
| | | 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況 | 医療安全管理室 | |
| | | 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況 | 医療安全管理室 | |
| | | 医療に係る安全管理のための指針の整備状況 | 医療安全管理室 | |
| | | 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況 | 医療安全管理室 | |
| | | 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 | 医療安全管理室 | |
| 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況 | 医療安全管理室 | | | |

| | | | 保管場所 | 分類方法 |
|---|---------|---|-----------------|---------------------|
| 病院の管理及び運営に関する諸記録 | 確保の状況 | 規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制 | 院内感染のための指針の策定状況 | 医療サービス課 生体支援センター |
| | | 院内感染対策のための委員会の開催状況 | 医療サービス課 | |
| | | 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況 | 生体支援センター | |
| | | 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況 | 生体支援センター | |
| | | 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況 | 薬剤部 | |
| | | 従業員に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況 | 薬剤部 | |
| | | 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況 | 薬剤部 | |
| | | 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | 薬剤部 | |
| | | 医療機器の安全使用のための責任者の配置の状況 | 医療安全管理室 | |
| | | 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況 | 医療安全管理室 | |
| | | 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況 | 医療安全管理室 | |
| 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | 医療安全管理室 | | | |

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

| | |
|-------------|---------------------|
| 閲覧責任者氏名 | 事務部長 倉坪弘一 |
| 閲覧担当者氏名 | 医療サービス課医療連携係長 井深和子 |
| 閲覧の求めに応じる場所 | 医療サービス課、医療連携センター相談室 |

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

| | | | |
|-----------|--------|---|-----|
| 前年度の総閲覧件数 | 延 | 0 | 件 |
| 閲覧者別 | 医師 | 延 | 0 件 |
| | 歯科医師 | 延 | 0 件 |
| | 国 | 延 | 0 件 |
| | 地方公共団体 | 延 | 0 件 |

○紹介患者に対する医療提供の実績

| | | | |
|------|------------------------|----------|-------------------------|
| 紹介率 | 70.9% | 算定期間 | 平成20年 4月 1日～平成21年 3月31日 |
| 算出根拠 | A: 紹介患者の数 | 11,043 人 | |
| | B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数 | 9,779 人 | |
| | C: 救急用自動車によって搬入された患者の数 | 1,581 人 | |
| | D: 初診の患者の数 | 21,829 人 | |

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制の確保状況

| | |
|---|----------|
| ① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況 | 有 (3名)・無 |
| ② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況 | 有 (1名)・無 |
| ③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況 | 有・無 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・所属職員：専任(3)名 兼任(7)名 ・活動の主な内容：以下の点について毎週会議を開催して検討 <ul style="list-style-type: none"> ○医療安全に係る啓蒙及び広報に関すること ○医療の安全確保のため、医療現場との連絡調整に関すること ○医療の安全確保に係る職員研修の企画立案に関すること ○インシデントに関する情報の収集及び分析、関係資料作成に関すること ○医療事故再発防止対策等の立案と周知徹底並びに改善に関すること | |
| ④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況 | 有・無 |
| ⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況 | 有・無 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○医療にかかる安全管理の委員会その他医療機関内の組織に関する基本的事項 ○医療にかかる安全管理のための職員研修に関する基本的事項 ○医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善に関する基本方針 ○医療事故(過誤)、重大事象発生時の対応に関する基本方針 ○行動制限防止のための指針 ○患者に係る当該指針の閲覧に関する基本方針 ○その他医療安全の推進のための基本方針 | |
| ⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況 | 年 12 回 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・活動の主な内容：「医療安全管理委員会」 <ul style="list-style-type: none"> ○インシデントレポート分析、防止(改善)策に関すること ○医療事故防止対策の検討及び推進に関すること ○医療事故防止対策に関する職員研修の企画に関すること | |
| ⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 | 年 16 回 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○第1回医療安全研修会「医療安全について」外(医療安全管理室副室長 内藤智雄 外) ○第2回医療安全研修会「インシデント報告について」外(医療安全管理室副室長 内藤智雄 外) ○輸液ポンプ、シリンジポンプ研修会(テルモ社 小林謙介 外) ○医療安全研修会(研修医対象)「インシデント報告について」(医療安全管理室副室長 内藤智雄) ○人工呼吸器管理研修会(高次救命治療センター 吉田省造 外) ○放射線部救急蘇生法研修(2回) ○新採用・中途採用職員研修(研修医・医師・看護師・技師など)(7回) | |
| ⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関内における事故報告等の整備 (有)・無) ・その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○外来化学療法運用の改善(予約システム・薬剤調剤について) ○血糖測定器と微量採血機器の運用改善 ○放射線部PET-CT検査での休憩室監視モニターの運用改善 ○サンプル製品の取り扱いについてマニュアル作成 ○患者・家族の針刺しについて対策・対応の見直し | |

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

| | |
|---|--------|
| ① 院内感染対策のための指針の策定状況 | (有)・無 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容: <ul style="list-style-type: none"> ○病院感染対策に関する基本的な考え方 ○病院感染対策の組織 ○職員教育・研修に関する基本方針 ○感染症発生状況の報告に関する基本方針 ○病院感染発生時の対応に関する基本指針 ○患者への情報提供と説明 ○病院における院内感染対策の推進 | |
| ② 院内感染対策のための委員会の開催状況 | 年 15 回 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容: <ul style="list-style-type: none"> ○病院感染の発生状況、抗菌薬の使用状況について ○病院感染対策の検討および推進に関すること ○病院感染対策に係る職員研修の企画に関すること ○病院感染対策に係る啓蒙及び広報に関すること ○病院感染発生時の医療現場との連絡調整に関すること | |
| ③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況 | 年 21 回 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容: <ol style="list-style-type: none"> 1) 生体支援センターセミナー(全職員対象) <ul style="list-style-type: none"> ○「救急・集中治療における人工呼吸器管理とVAPについて」(高次救命センター:吉田省造) ○「造血管幹細胞移植の感染対策」(第一内科:笠原千嗣) ○「手術部位感染対策について」(生体支援センター感染制御部門専任医師:徳山泰治) ○「性感染症について」(泌尿器科:安田満) 2) 医療安全・感染対策合同研修会(全職員対象) <ul style="list-style-type: none"> ○「感染対策の基本」(生体支援センター:村上啓雄、深尾亜由美)(5回) ○「CD関連腸炎について」(生体支援センター:村上啓雄、深尾亜由美)(5回) 3) 新入職員研修(全新入職員対象) <ul style="list-style-type: none"> ○病院感染対策の基本(生体支援センター:村上啓雄、深尾亜由美) 4) 看護師研修(全看護師対象) <ul style="list-style-type: none"> ○尿道留置カテーテル関連尿路感染の感染対策(生体支援センター:深尾亜由美) ○人工呼吸器関連肺炎の感染対策(生体支援センター:深尾亜由美) ○中心静脈カテーテル関連血流感染の感染対策(生体支援センター:深尾亜由美) 5) 看護師研修(リーダー看護師対象) <ul style="list-style-type: none"> ○「感染管理コース」(5時間×2回)(生体支援センター:深尾亜由美) 6) 看護助手研修 <ul style="list-style-type: none"> ○病院感染対策の基本(生体支援センター:深尾亜由美) | |
| ④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無) <ul style="list-style-type: none"> ○感染症管理システムによるサーベイランス ○各種会議(医局長等会議、科長会議、院内感染対策専門委員会等)での報告 ・ その他の改善のための方策の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> ○感染防止推進月間の実施(院内ラウンド、自己チェック、患者アンケート等) ○抗菌薬の適正使用に関するアンケートの実施と医局訪問 ○抗菌薬の適正使用のための薬剤師による抗菌薬投与患者の評価および介入 ○手指衛生遵守向上に関する取り組み(速乾性擦式消毒剤の使用量のモニタリング等) ○アウトブレイクが疑われた場合は、各部署へ情報提供及び指導の徹底 | |

(様式第13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

| | |
|--|---------|
| ① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況 | ① 有 ・ 無 |
| ② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況 | 年 2 回 |
| ・ 研修の主な内容： ○オーダーリングシステムの機能およびその注意点について研修会を行った。特に例を挙げて解り易く説明を行った。(1月19日～1月23日) ○輸液ポンプ・シリンジポンプ研修会を行い、特に薬液の交換時の注意点について詳細に説明した。(9月17日) | |
| ③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況 | |
| ・ 手順書の作成 (③ 有) ・ 無) ・ 業務の主な内容： ○6月にMEセンター、東7階病棟に薬剤師2名がチェックシートを用いて確認を行った。 ○12月に毒薬が管理されている病棟に対して、運用方法と管理状況の確認を行った。 | |
| ④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | |
| ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (④ 有) ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ○アタラックスP注25mgと50mgの2規格が採用されており、規格の間違いがあつたため、50mgの規格を採用中止とした。 ○病棟管理医薬品において、2規格以上ある医薬品には、名札に青丸シールを貼付することを義務付けた。 ○病棟で管理されているハイリスク医薬品には、ハイリスク医薬品と表記することを義務付けた。 | |

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

| | |
|---|--------|
| ① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況 | ①・無 |
| ② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況 | 年 15 回 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○医療機器の安全基礎知識について(電源・医療ガス関連も含めて) ○除細動器、AEDの安全管理について ○輸液ポンプ、シリンジポンプの取り扱い方法について(新採用者・経験者対象別) ○新規購入医療機器研修会(7回) ○保育器研修会 ○人工呼吸器研修会(2回) ○放射線機器研修会(心臓CT) | |
| ③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の策定 (①・無) ・ 保守点検の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○人工呼吸器、人工心肺装置、除細動装置、十二誘導心電計、血液浄化装置、輸液ポンプ、シリンジポンプ、超音波ネブライザーは使用毎の保守点検を医療機器センターで実施 ○血液浄化部の多人数用血液透析装置は2年に1度業者による点検実施 ○放射線装置は期限毎に業者と保守点検の契約を結び実施(機器により、半年から2年毎) | |
| ④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (①・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○人工呼吸器について…医療機器センター技士による人工呼吸器管理中患者のラウンドを週2回実施 呼吸療法支援チームの活動を開始し、チームによる病棟の人工呼吸器管理患者のラウンドを週2回実施 会議では、人工呼吸器関連のインシデント報告や情報を検討し院内に周知 ○サンプル製品の取り扱いについてマニュアル作成 ○医療機器安全管理マニュアルの改定 ○ディスプレイ製品のリユース制限、使用回数の制限 | |